



紛争地域を越えて医療を届けるために
立ち上がる人々

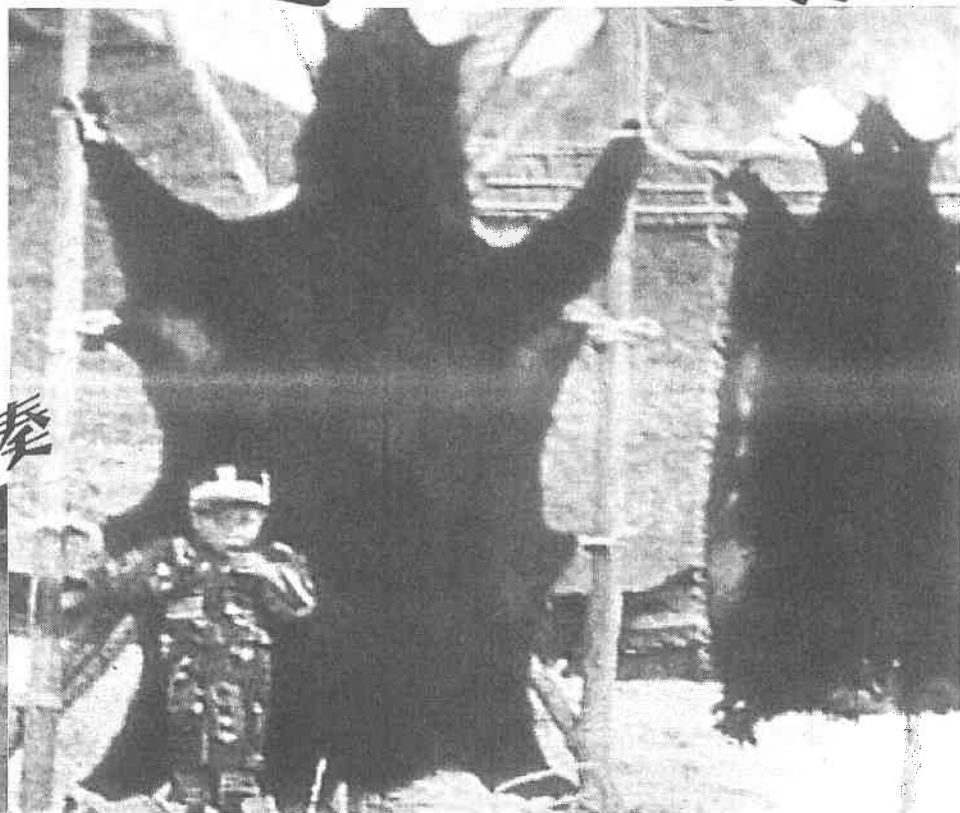
山の医療団

里山上映会

山の映画特集

雪稜に 熊を狩る

1936年、
小国町のマタギの
生活を描いた無声山岳映画



2020年7月26日(日) 10:30, 13:30 (2作品 2回上映)

はらっぱ里山保育園 (山形市大字土坂元草矢倉字大の坂73番地)

鑑賞料金 無料(ただし、カンパは大歓迎!) お問い合わせ:090-7330-7859(阿部)

主催:里山・西藏王で映画を楽しむ会 協力:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

山の医療団

監督:ジジ・ベラルディ

ビルマ、ヴェトナム、タイ/2019/ビデオ/65分

山形国際ドキュメンタリー映画祭2019

アジア千波万波上映作品

紛争で孤立した少数民族の居住地域に医療を届けるプロジェクト・チーム「バックパック・メディックス」。医師たちは、ジャングルを突き進み、野営しながら紛争地を越えて医療物資を運ぶ。一方、ベースキャンプでは、村の若者たちが医学知識や応急処置の技術を身につけようとしている。少数民



族が自ら学び、行動し、命を守り、紡ぐ。まだ幼い顔をした若者たちも、学んだことを背負い旅立ってゆく。

夏の「里山上映会」は、
山の映画と音楽だ!



雪稜に熊を狩る

監督:塚本閻治/1936/サイレント+ヴァイオリン生演奏
モノクロ/ビデオ(原版:16mm)/29分

日本有数の豪雪地帯 山形県小国町には、マタギと呼ばれる猟師たちが暮らしている。彼らの熊狩りに同行し、撮影隊一行は雪深い飯豊連峰へと分け入っていく。カメラが撮らえた、マタギの興味深い風習、美しい飯豊の雪渓の数々、そして熊狩りのスリリングな瞬間。巧みな構成とユーモア溢れる演出で、山に生きる人々と、人を生かしていく山々を撮らえた珠玉の作品。

今回は、サイレント映画とヴァイオリンの生演奏を同時に楽しむ、貴重な上映です。



演奏者 鈴木崇さん

1987年山形県山形市生まれ。山形県立北高等学校音楽科卒業、北海道教育大学芸術課程音楽コース作曲専攻卒業。これまで作曲を藤澤孚、南聡、二橋潤一、佐々木茂の各氏に、ソ

ルフェージュを藤澤孚氏に師事。2010年から、県内の小中学校で音楽を教える傍ら、作曲・編曲活動を中心に講演会や演奏活動など幅広く活動している。米沢フィルハーモニー管弦楽団2ndヴァイオリン。米沢市の伝国の杜オーケストラ専属アレンジャーとしてファミリーコンサート編曲などを行っている。